

和洋学園 創立 125 周年記念事業の基本方針

1. 和洋学園 創立 125 周年記念事業について

私立学校の教育は、評価と競争の時代にあって、その内容と質が厳しく問われています。和洋学園も建学の精神に戻り中学校、高等学校、大学、大学院のそれぞれにおいて、私学独自の特色のある教育の展開とその質保証の仕組み作りに邁進しているところです。このような状況において、創立 125 周年を和洋学園の新時代のエポックとなることを目指し、新たに策定あるいは改編する教育、研究、学生・生徒支援プログラムに限られた資源を効果的に集中することが肝要であると考えます。

創立 100 周年では校舎の改築などハード面を中心とした記念事業が行われました。100 周年から 4 分 1 世紀を経た 125 周年事業では、和洋学園の歴史を振り返り、和洋学園の目指す教育、研究、学生・生徒支援など学園のソフト面を中心とした記念事業を実施することを基本方針とします。

具体的な記念事業の内容は、現在、創立 125 周年記念委員会で検討中ですが、広く和洋に関わる方を対象に、記念事業のご提案を募ることとします。

2. 和洋 Vision125 伝統への自信と未来への躍動

和洋学園に学ぶ学生・生徒が学園の伝統に自信を持ち、未来に向かって自ら考え、行動する「自立」した女性になることを目標とし、和洋学園の建学の精神に基づく質の高い教育を提供し、21 世紀の時代をリードする女性を育成する女子教育機関として地位をさらに強化することを目指します。

具体的には、新教育課程の構築、創立 125 周年記念誌の刊行、メモリアル事業と祝賀記念式典の実施、堀越千代先生記念本の出版、募金活動の 5 つの事業を運営します。

(1) 新教育課程の構築（和洋学園のリブランディング）

和洋学園が設ける中学、高校、大学における教育課程を見直し、社会ニーズに応じた女子教育を再構築します。和洋九段女子中学校高等学校においては、グローバルをキーワードに再編し、和洋国府台女子中学校高等学校は、スクールモットーである「凜として」を掲げ、全人教育に応じた特色あるカリキュラム

の構成を目指します。また、大学・大学院は自ら考え、行動できる自立した女性の育成を目標として、教育課程の再編に加え、学部学科の再編を行い社会人材ニーズに応じた教育を行うことを目指します。

さらに、和洋国府台女子高等学校と和洋女子大学との間で高大接続教育の実現を計画しています。文部科学省が主導する高大接続は、大学入試改革に焦点が移りましたが、本学では、中等教育と高等教育をつなぐことで、それぞれでの学びの「深化」と「進化」を実現し、和洋学園の長い歴史の中ではぐくまれた行動力ある女性の育成を目指します。

また、そのために必要な教育の質の向上を目指して、ICT を活用した教育設備の充実や、学生・生徒がゆとりをもって学べる学舎の整備を行います。

(2) 記念誌の刊行

明治 30 年(1897 年)の和洋裁縫女学院から始まる本学園の歴史をたどり、時代に応じて提供されてきた女子教育の変遷の歴史を振り返り、和洋学園の女子教育を明らかにすることを目的として記念誌の刊行を行います。記念誌には学園の歴史はもとより、教育理念、教育内容、教育方法などを卒業生や教員から情報収集を行い、明治、大正、昭和の時代を支えてきた和洋学園の姿を浮き彫りにすることを目指します。

(3) 創立 125 周年メモリアル事業と祝賀記念式典

和洋学園では 125 周年に向けて既に多くの事業を進めてきました。既に行っている事業は以下の通りです。これらに加えて 125 周年は行ってきた多くの事業を統合し、事業のリストを作成して（現在の状況は下記の通り）、その披露を祝賀記念式典において発表します。

祝賀記念式典は東京都内で実施することを予定しております。現在候補に挙げられている会場は、収容規模 1,500 席の東京国際フォーラム C ホール（有楽町）です。予約開始が利用の 2 年前からとなっており、平成 34 年の式典の平成 32 年に予約する方向で検討しています。なお、祝賀会の運営については家里誠一事務局長が委員会を組織し、その運営を統括することとなっています。

創立 125 周年記念事業の一覧

① 創設者堀越千代先生関連

- ・ 堀越千代先生顕彰碑建立（盛岡市 正覚寺）
- ・ 堀越千代先生肖像レリーフの掲示（和洋女子大学 東館 1 階）
- ・ 盛岡市先人記念館に堀越千代先生を登録（岩手日報に記事の掲載）

② キャンパス整備

- ・ 国府台キャンパス緑化
- ・ 和洋九段校 M棟増築
- ・ 和洋九段校 九段スカイビルの購入と和洋九段フォーラム設置
- ・ 和洋九段校 硯友社展示室の設置
- ・ 和洋国府台中学校の国府台キャンパスへの移転
- ・ 和洋女子大学「さとみ館」の新築（看護学部）
- ・ 和洋女子大学の九段キャンパス展開

③ 教育の充実

- ・ 和洋九段校 グローバルクラスの設置
- ・ 和洋女子大学 看護学部設置
- ・ 和洋女子大学 大学院開設（九段キャンパス）
- ・ 和洋女子大学 グローバルコミュニケーション学部設置
- ・ 和洋女子大学 学群学類から学部学科への名称変更
- ・ 和洋女子大学 改組 家政福祉学科に児童福祉コースの開設
- ・ 高大接続コースの設置（和洋国府台校 和洋女子大学）
- ・ 教育実践フィールドの構築（カウンセリング、保育など）

④ 研究の充実

- ・ 和洋女子大学総合研究機構の設置
- ・ 和洋女子大学総合研究機構 堀越千代先生と和洋学園の歴史の検証研究
- ・ 和洋女子大学総合研究機構 和洋九段校 硯友社に関するデータアーカイブの整備
- ・ 和洋女子大学総合研究機構 卒業生のライフコース研究の開始

創立 125 周年記念事業の一覧

⑤ 地域、企業との連携

- ・ 市川市との地域包括協定の締結
- ・ 国府台教育コンソーシアムの立ち上げ

(4) 堀越千代先生の記念本の出版

堀越千代先生の足跡を振り返り、和洋学園設立、発展の記録をまとめた出版物として発刊することとします。出版者は堀越千代先生の出生地である岩手県の岩手日報社にお願いすることとなっており、既に取材活動が始められています。この出版は盛岡市先人記念館に堀越千代先生を推薦するために活用する資料を引用して作成される本です。

(5) 創立 125 周年記念事業実施他のための募金

創立 125 周年記念事業の総予算は 3 億円とし、寄付を募ります。募金活動に当たっては、むら竹会和洋女子大学同窓会会長・高梨禮子氏、和洋学園後援会会長・竹内久泰氏を代表とする募集委員会を設置し、卒業生、企業などから寄付を募る計画を策定します。寄付者の授与される賛助員、名誉賛助員に加え、新たに和洋パートナーズ称号を設け、小額の寄付でも学園から顕彰される制度を設け、多くの寄付が得られるようにします。

主な寄付金の使途

- 記念式典
- 125 周年記念誌発行
- 堀越千代先生記念出版
- 教育施設の更新
 - グローバルコミュニケーション学部のワールドカフェ（和洋女子大学東館 10 階、11 階）設置
 - 中高大グローバル教育の推進
 - 和洋九段校舎「和洋学園硯友社記念会館」の改装
 - ICT 教育設備の充実（中高大）
- 研究の充実
 - 和洋学園歴史研究
 - 卒業生ライフコース研究と和洋学園の教育検証研究